

20. 教育職員免許状の取得について

平成22～27年度入学者用

本学部の学生で、教育職員免許法及び同法施行規則により定められた単位を修得した者は、次の免許状を取得することができる。

1 免許状の種類及び免許教科

教育職員免許状の種類	免許教科
中学校教諭一種免許状	社会、国語、英語、ドイツ語、フランス語
高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民、国語、英語、ドイツ語、フランス語

2 基礎資格及び必要修得単位数

免許状の種類	基礎資格	必要修得単位数		
		教職に関する科目	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目(注1)
中 一 種 免	学士の学位を有すること。	31	20	8
高 一 種 免		25 (注2)	20	16

(注1) 取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から修得すること。

(注2) 免許法で求められるより2単位多く修得することになります。この2単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位にあてることができます。

また、中学校、高等学校の両方の免許取得希望者が、教育実習5単位を修得した場合、高等学校免許申請時に「教職に関する科目・教育実習2単位(中学校免許5単位と、高等学校免許3単位の差)」を「教科又は教職に関する科目」にあてることができます。

3 介護等の体験

- (1) 中学校免許取得希望者は、必ず社会福祉施設等において7日間の「介護等体験」を行うこと。
- (2) 介護等体験は原則2年次で体験すること。
- (3) 介護等体験に参加するには、別途指示する時期(2月頃)に申し込みのうえ、必ず事前指導を受けること。(事前指導を受講しなければ体験には参加できません。)
- (4) 介護等体験の手続きまたは体験に係る注意事項などは、講義棟1階教職関係の掲示板でお知らせするので、毎日掲示板を確認すること。

4 免許状取得に関する単位修得方法

(1) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（中一種免，高一種免共通）〈必ず修得すること〉

教養教育科目

〈平成25年度～27年度入学生〉（平成24年度以前入学生は文学部教務担当窓口で確認してください）

授 業 科 目	必要修得 単位数	備 考
日本国憲法	2	必修
するスポーツ演習 【平成27年度以前開講】	2	2単位又は1単位選択必修
するスポーツ演習	1	
健康・スポーツ科学 【平成27年度以前開講】	2	2単位又は1単位選択必修
健康・スポーツ科学A	0.5	
健康・スポーツ科学B	0.5	
総合英語1 【平成27年度以前開講】	1	1単位 選択必修
総合英語1-1	0.5	
総合英語1-2	0.5	
総合英語4 【平成27年度以前開講】	1	1単位 選択必修
総合英語4-1	0.5	
総合英語4-2	0.5	
情報処理入門（情報機器の操作を含む。） 【平成27年度以前開講】	2	2単位 選択必修
情報処理入門1（情報機器の操作を含む）	1	
情報処理入門2（情報機器の操作を含む）	1	
情報処理入門3（情報機器の操作を含む）		

(2) 中学校教諭一種免許状取得に必要な単位

中学校教諭免許取得に必要な「教職に関する科目」の単位は、以下の表により修得してください。また、「教科に関する科目」は、52頁以降の表を参照し、必要な単位を修得してください。

注意：○印の授業科目は必修

区 分		授業科目名	必要 単位数	備 考	
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	○ 教職論	2	注1（免許ごとの教科の指導法）の授業科目は51頁の“免許ごとの「教科の指導法」”を参照してください。 注2 高校免許も取得する場合、中学校免許用として修得した「道徳教育論」の単位は、高校免許の「教職に関する科目」としては使えませんが、高校免許の「教科又は教職に関する科目」の単位にあてることが出来ます。	
	教育の 基礎理 論に関 する科 目	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	○ 学校と教育の歴史		6
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	○ 学校教育心理学 ----- 学習心理学		
		教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項	○ 教育の制度と社会 ----- 人権・同和教育		
	教育課 程及び 指導法 に関す る科目	教育課程の意義及び編成の方法	○ カリキュラム論		12
		各教科の指導法	○ (免許ごとの教科の指導法) ^{注1}		
		道徳の指導法	○ 道徳教育論 ^{注2}		
		特別活動の指導法	○ 特別活動論		
		教育の方法及び技術（情 報機器及び教材の活用を 含む。）	○ 教育の方法と技術 現代教育方法学 学習意欲向上の原理と方法 教育評価・測定		
	生徒指導、教育相談及び進路指導 等に関する科目	○ 生徒指導論Ⅰ（教育相談、進路 指導を含む） 選択 必修 { 教育相談論B ----- 生徒指導論ⅡB	4		
	教育実習	○ 教育実習Ⅱ（教育実習基礎研究）	5		
		○ 教育実習Ⅳ（中学校）			
教職実践演習	○ 教職実践演習（中・高）	2			
合 計			31		
教科に関する科目			20	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」から修得してください。	
教科又は教職に関する科目			8	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」又は「教職に関する科目に準ずる科目」から修得してください。	

「教職に関する科目」は、教育学部開講科目となります。

各年度に開講する科目、時間割等については、別に配布する【教育学部教職科目開講一覧】で確認してください。

なお、時間割の変更等については、教育学部講義棟掲示板で確認してください。また、集中講義の日程・教室については、別途掲示します。

科目や履修方法、開講時期等について変更がある場合は、掲示で周知しますので、文・法・経済学部講義棟1階の教職関係掲示板及び教育学部の掲示板を必ず確認するよう注意してください。

(3) 高等学校教諭一種免許状取得に必要な単位

高等学校教諭免許取得に必要な「教職に関する科目」の単位は、以下の表により修得してください。また、「教科に関する科目」は、52頁以降の表を参照し、必要な単位を修得してください。

注意：○印の授業科目は必修

区 分		授業科目名	必要 単位数	備 考	
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	○ 教職論	2	注1 (免許ごとの教科の指導法)の 授業科目は51頁の“免許ごとの「教科 の指導法」”を参照してください。 注2 免許法上では6単位必要ですが、 カリキュラム上8単位修得することが 必要です。 注3 中学校免許を同時に取得する場合 は、5単位修得することになります。 注4 免許法で求められるより2単位（ 中学校免許を同時に取得する場合は4 単位）多く修得することになります。 この2単位（又は4単位）は、「教科 又は教職に関する科目」の単位にあて ることができます。	
	論に 関 す る 科 目	教育の 基礎理 論に関 する科 目	○ 学校と教育の歴史		6
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	○ 学校教育心理学 ----- 学習心理学		
		教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項	○ 教育の制度と社会 ----- 人権・同和教育		
	教 育 課 程 及 び 指 導 法 に 関 す る 科 目	教育課程の意義及び編成の方法	○ カリキュラム論		8 ^{注2}
		各教科の指導法	○ (免許ごとの教科の指導法) ^{注1}		
		特別活動の指導法	○ 特別活動論		
		教育の方法及び技術（情 報機器及び教材の活用を 含む。）	○ 教育の方法と技術		
			現代教育方法学 学習意欲向上の原理と方法 教育評価・測定		
	生徒指導、教育相談及び進路指導 等に関する科目	○ 生徒指導論Ⅰ（教育相談、進路 指導を含む）	4		
		選択 必修 { 教育相談論B ----- 生徒指導論ⅡB			
教育実習	○ 教育実習Ⅱ（教育実習基礎研究）	3 ^{注3}			
	○ 教育実習Ⅴ（高等学校）				
教職実践演習	○ 教職実践演習（中・高）	2			
合 計			25 ^{注4}		
教科に関する科目			20	取得しようとする免許教科の「教科に 関する科目」から修得してください。	
教科又は教職に関する科目			16	取得しようとする免許教科の「教科に 関する科目」、「教職に関する科目」又 は「教職に関する科目に準ずる科目」 から修得してください。	

「教職に関する科目」は、教育学部開講科目となります。

各年度に開講する科目、時間割等については、別に配布する【教育学部教職科目開講一覧】で確認してください。

なお、時間割の変更等については、教育学部講義棟掲示板で確認してください。また、集中講義の日程・教室については、別途掲示します。

科目や履修方法、開講時期等について変更がある場合は、掲示で周知しますので、文・法・経済学部講義棟1階の教職関係掲示板及び教育学部の掲示板を必ず確認するよう注意してください。

(4) 教職に関する科目：免許ごとの「教科の指導法」履修方法について

注意：○印の授業科目は必修

免許教科	授業科目名	必要単位数	備考
中学校（国語） 高等学校（国語）	選択必修 { 中等国語科指導法A ----- 中等国語科指導法B	2	
	選択必修 { 中等社会科指導法A ----- 中等社会科指導法B		
中学校（社会）	○ 社会科教育特講（地理歴史科指導法）	2	
高等学校（公民）	○ 社会科教育特講（公民科指導法）	2	
中学校（英語） 高等学校（英語）	選択必修 { 中等英語科指導法A ----- 中等英語科指導法B ----- 中等英語科指導法開発	2	
	選択必修 { 中等独語科指導法I ----- 中等独語科指導法II ----- 中等独語科指導法III ----- 中等独語科指導法IV		
中学校（ドイツ語） 高等学校（ドイツ語）	選択必修 { 中等独語科指導法A ----- 中等独語科指導法B ----- 中等独語科指導法C ----- 中等独語科指導法D	2	平成24年度以前 入学生対象
	選択必修 { 中等独語科指導法A ----- 中等独語科指導法B ----- 中等独語科指導法C ----- 中等独語科指導法D		
中学校（フランス語） 高等学校（フランス語）	選択必修 { 中等仏語科指導法I ----- 中等仏語科指導法II ----- 中等仏語科指導法III ----- 中等仏語科指導法IV	2	平成24年度以前 入学生対象
	選択必修 { 中等仏語科指導法A ----- 中等仏語科指導法B ----- 中等仏語科指導法C ----- 中等仏語科指導法D		

【履修にあたっての注意事項】

各教科の指導法は、取得しようとする免許教科ごとに履修しなければなりません。また、各教科の指導法は、取得しようとする免許教科にしか教職用の単位として使用できません。

(5) 教職に関する科目：教育実習について

1. 教育実習は、4年次の第1学期、第2学期（原則4月から6月）に高一種免は2週間、中一種免は4週間各自の出身校で履修すること。
2. 教育実習を行う前年度までに、教育実習履修資格単位を修得しておくこと。（下記※参照）
3. 教育実習基礎研究（事前・事後指導）は、実習を行う年度の前年度第3学期から始まります。文・法・経済学部1階の掲示板で日程等をよく確認すること。
なお、教育実習及び教育実習基礎研究の履修登録は、文学部教務担当で行います。
4. 事情により教育実習を辞退する場合は、速やかに文学部教務担当へ届け出るとともに、出身校へ必ず連絡すること。
5. 実習を行う年度の前年度（4年次に教育実習を履修する場合、3年次）の4月頃から様々な手続きが必要になります。文・法・経済学部講義棟1階の掲示板を常に確認し、期限厳守で手続きを行うこと。

【教育実習履修要件：平成22年度～27年度入学生適用】

※ 教育実習履修資格単位 下表のとおり修得済みであることを教育実習の履修要件とする。	
教職に関する科目の区分	必要単位数
教職の意義等に関する科目	2単位以上
教育の基礎理論に関する科目	2単位以上
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法2単位を含めて4単位以上
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位以上
教職に関する科目の合計	16単位以上

(6) 教職に関する科目：教職実践演習について

1. 教育実習を終了した後、4年次第3学期、第4学期に履修すること。
2. 日程やクラス分けの詳細は、掲示により連絡します。
3. 教職実践演習の履修登録は、文学部教務担当で行います。

5 各教員免許状の教科に関する科目に対応する授業科目

(1) 中学校教諭一種普通免許状（社会） 高等学校教諭一種普通免許状（地理歴史）・（公民）

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目			授業科目	備考	
中一種社会	高一種地歴	高一種公民			
日本史及び 外国史	日本史	注) 右欄の授 業科目は、高 一公民の教 科に関する 科目にはな らない。	日本史概説1 日本史概説2 日本史講義 日本史概説1 日本史概説2 日本史講義 日本史演習 日本史演習 日本史演習		
	外国史		西洋美術史概説1 西洋美術史概説2 ○アジア史概説1 ○アジア史概説2 西洋史講義 西洋史講義 文化交流史演習 西洋史演習		
地理学 (地誌を含む。)	人文地理学及 び自然地理学		○人文地理学概説 ○自然地理学概説		
	地誌		○地誌学講義 地理学講義 地理学演習		
「法学、 政治学」	注) 右欄の授 業科目は、高 一公民の教 科に関する 科目にはな らない。	「法学(国 際法を含む。), 政治学(国際 法を含む。)」	憲法ⅡA 憲法ⅡB 企業法総論 国際政治論 ○政治学 倒産処理法(※1) 民事法入門(※2) 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 民事訴訟法 会社法Ⅰ 会社法Ⅱ 刑法総論Ⅰ 刑法総論Ⅱ 労働団体系法Ⅰ 雇用関係法Ⅰ 国際法概論Ⅰ 国際法概論Ⅱ 国際法各論Ⅰ 国際法各論Ⅱ 憲法(人権) a 憲法(人権) b 憲法(人権) c 行政法総論Ⅰ 行政法総論Ⅱ a 行政法総論Ⅱ b 行政手続法概論 民事訴訟法 a 民事訴訟法 b 企業取引法 a 会社法 a 会社法 b 会社法 c 刑法総論 a 刑法総論 b 刑法総論 c 労働団体系法 a 雇用関係法 b 雇用関係法 c 国際法総論 a 国際法総論 b 国際法総論 c 国際法各論 a 国際法各論 b 国際法各論 c 国際政治論 a 国際政治論 b	【平成27年度以前開講科目】 ※1：平成22・23年度入学生履修科目 ※2：平成22～25年度入学生履修科目 【平成28年度開講科目】	法学部 法学科 開設

		○政治学 a ○政治学 b	J
「社会学, 経済学」	「社会学, 経済学(国 際経済を含 む。)」	○社会学概説 1 社会学概説 2 文化人類学概説 1 文化人類学概説 2 社会学概説 社会学講義 文化人類学講義 社会学演習 文化人類学演習 社会学演習	
「哲学, 倫理 学, 宗教学」	「哲学, 倫理 学, 宗教学, 心理学」	* 哲学概説 1 ※中一種社会は、*印哲学概説 1 哲学概説 2 及び倫理学概説 1 の内から * 倫理学概説 1 1 科目選択必修 倫理学概説 2 思想史概説 1 思想史概説 2 哲学講義 倫理学講義 思想史講義 美学講義 哲学演習 倫理学演習 思想史演習 美学演習 比較宗教史講義	
注) 右欄の授業 科目は、中一種 社会の教科に関 する科目にはな らない。		* 心理学概説 1 ※高一種公民は、*印哲学概説 1 心理学概説 2 倫理学概説 1 及び心理学概説 1 の 心理学講義 内から 1 科目選択必修 心理学演習	

(2) 中学校教諭一種普通免許状（国語） 高等学校教諭一種普通免許状（国語）

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 国 語	高 一 種 国 語		
国 語 学 (音声言語及び文章表現 に関するものを含む。)	国 語 学 (音声言語及び文章表 現に関するものを含む。)	○日本語学概説 1 ○日本語学概説 2 ○日本語学講義 1 日本語学講義 2 日本語学演習 言語学講義 1 言語学演習 1	
国 文 学 (国文学史を含む。)	国 文 学 (国文学史を含む。)	○日本言語文化学概説 1 ○日本言語文化学概説 2 ○日本言語文化学講義 日本言語文化学演習	
漢 文 学	漢 文 学	○中国言語文化学概説 1 ○中国言語文化学概説 2 中国言語文化学講義	<input type="checkbox"/> 選択必修
書 道 (書写を中心とする。)	注) 右欄の授業科目は、 高一種国語の教科に関 する科目にはならない。	○書写・書道概論	教育学部開設

(3) 中学校教諭一種普通免許状（英語） 高等学校教諭一種普通免許状（英語）

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 英 語	高 一 種 英 語		
英 語 学	英 語 学	○英語学概説 英語学講義 英語学演習 英語学講義 2 英語学演習 2	
英 米 文 学	英 米 文 学	○英米言語文化学概説 1 *英米言語文化学概説 2 *英米言語文化学講義 英米言語文化学演習	平成25年度～平成27年度入学者について *英米言語文化学概説 1 と *英米言語文化学概説 2 をどちらも修得している場合のみ必修を満たしているものと見なします。 *英米言語文化学概説 1 または *英米言語文化学概説 2 のいずれかのみ修得している場合は、新設の○英米言語文化学概説を修得してください。
英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	英語表現法 1 英語表現法 2 ○英語コミュニケーション 1 英語コミュニケーション 2 英語コミュニケーション 3 英語コミュニケーション 4 英語コミュニケーション 5 英語コミュニケーション 6	
異文化理解	異文化理解	○時事英語 1 時事英語 2 時事英語 3	

(4) 中学校教諭一種普通免許状（ドイツ語） 高等学校教諭一種普通免許状（ドイツ語）

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 独 語	高 一 種 独 語		
独 語 学	独 語 学	○ドイツ語学概説 ドイツ語学講義 ドイツ語学演習 ドイツ語読解法 ドイツ語表現法 1 ドイツ語表現法 2 ドイツ語上級 ドイツ語翻訳法	
独 文 学	独 文 学	○ドイツ言語文化学講義 ドイツ言語文化学演習	
独語コミュニケーション	独語コミュニケーション	○ドイツ語コミュニケーション 1 ドイツ語コミュニケーション 2 ドイツ語コミュニケーション 3 ドイツ語コミュニケーション 4 ドイツ語コミュニケーション 5 ドイツ語コミュニケーション 6	
異文化理解	異文化理解	○ドイツ言語文化学概説 1 ○ドイツ言語文化学概説 2 ドイツ文化論 時事ドイツ語	<input type="checkbox"/> 選択必修 (平成22・23年度入学生履修科目)

(5) 中学校教諭一種普通免許状（フランス語） 高等学校教諭一種普通免許状（フランス語）

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 仏 語	高 一 種 仏 語		
仏 語 学	仏 語 学	○フランス語学概説 フランス語学講義 フランス語学演習	
仏 文 学	仏 文 学	○フランス言語文化学講義 フランス言語文化学演習	
仏語コミュニケーション	仏語コミュニケーション	○フランス語コミュニケーション1 フランス語コミュニケーション2 フランス語コミュニケーション3 フランス語コミュニケーション4 フランス語コミュニケーション5 フランス語コミュニケーション6 フランス語作文1 フランス語作文2 フランス語作文3	
異文化理解	異文化理解	○フランス言語文化学概説1 ○フランス言語文化学概説2 フランス文化総合演習1 フランス文化総合演習2 フランス文化総合演習3	<input type="checkbox"/> 選択必修

別表（単位修得方法：中学校教諭一種普通免許状）

第一欄	第二欄	最低修得単位数
免許教科	教科に関する科目	
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） 国文学（国文学史を含む。） 漢文学 書道（書写を中心とする。）	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
社会	日本史及び外国史 地理学（地誌を含む。） 「法学，政治学」 「社会学，経済学」 「哲学，倫理学，宗教学」	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
独語	独語学 独文学 独語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
仏語	仏語学 仏文学 仏語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上

別表（単位修得方法：高等学校教諭一種普通免許状）

第一欄	第二欄	最低修得単位数
免許教科	教科に関する科目	
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） 国文学（国文学史を含む。） 漢文学	1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
地理歴史	日本史 外国史 人文地理学及び自然地理学 地誌	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
公民	「法学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」 「社会学，経済学（国際経済を含む。）」 「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
独語	独語学 独文学 独語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
仏語	仏語学 仏文学 仏語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上

平成28年度以降入学者用

本学部の学生で、教育職員免許法及び同法施行規則により定められた単位を修得した者は、次の免許状を取得することができる。

1 免許状の種類及び免許教科

教育職員免許状の種類	免許教科
中学校教諭一種免許状	社会、国語、英語、フランス語
高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民、国語、英語、フランス語

2 基礎資格及び必要修得単位数

免許状の種類	基礎資格	必要修得単位数		
		教職に関する科目	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目(注1)
中一種免	学士の学位を有すること。	31	20	8
高一種免		25 (注2)	20	16

(注1) 取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から修得すること。

(注2) 免許法で求められるより2単位多く修得することになります。この2単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位にあてることができます。

また、中学校、高等学校の両方の免許取得希望者が、教育実習5単位を修得した場合、高等学校免許申請時に「教職に関する科目・教育実習2単位(中学校免許5単位と、高等学校免許3単位の差)」を「教科又は教職に関する科目」にあてることができます。

3 介護等の体験

- (1) 中学校免許取得希望者は、必ず社会福祉施設等において7日間の「介護等体験」を行うこと。
- (2) 介護等体験は原則2年次で体験すること。
- (3) 介護等体験に参加するには、別途指示する時期(2月頃)に申し込みのうえ、必ず事前指導を受けること。(事前指導を受講しなければ体験には参加できません。)
- (4) 介護等体験の手続きまたは体験に係る注意事項などは、講義棟1階教職関係の掲示板でお知らせするので、毎日掲示板を確認すること。

4 免許状取得に関する単位修得方法

- (1) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(中一種免、高一種免共通)〈必ず修得すること〉

教養教育科目

授業科目	必要修得単位数	備考
日本国憲法	2	必修
するスポーツ演習 健康・スポーツ科学A 健康・スポーツ科学B	1 0.5 0.5	必修
英語コミュニケーション1-1 英語コミュニケーション1-2 英語コミュニケーション5-1 英語コミュニケーション5-2	0.5 0.5 0.5 0.5	必修
情報処理入門1(情報機器の操作を含む) 情報処理入門2(情報機器の操作を含む) 情報処理入門3(情報機器の操作を含む)	1 1 1	必修 選択必修

(2) 中学校教諭一種免許状取得に必要な単位

中学校教諭免許取得に必要な「教職に関する科目」の単位は、以下の表により修得してください。また、「教科に関する科目」は、64頁以降の表を参照し、必要な単位を修得してください。

注意：○印の授業科目は必修

区 分		授業科目名	必要 単位数	備 考	
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	○ 教職論C (1) ○ 教職論C (2)	2		
	教育の 基礎理 論に関 する科 目	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	○ 教育学概説C (1) ○ 教育学概説C (2)		2
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	○ 学校教育心理学C I ○ 学校教育心理学C II ----- 学習心理学 (1) 学習心理学 (2)		2
	教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項	○ 教育の制度と社会C (1) ○ 教育の制度と社会C (2) ----- 人権・同和教育 (1) 人権・同和教育 (2)	2		
		教育課程の意義及び編成の方法	○ 中等教育カリキュラム論C (1) ○ 中等教育カリキュラム論C (2)		2
	教育課 程及び 指導法 に関す る科目	各教科の指導法	○ (免許ごとの教科の指導法) ^{注1}		2 又は 4
		道徳の指導法	○ 道徳教育論C (1) ^{注2} ○ 道徳教育論C (2)		2
		特別活動の指導法	○ 特別活動論C (1) ○ 特別活動論C (2)		2
		教育の方法及び技術（情 報機器及び教材の活用を 含む。）	○ 教育の方法と技術C (1) ○ 教育の方法と技術C (2) ----- 現代教育方法学B (1) 現代教育方法学B (2) ----- 学習意欲向上の原理と方法B (1) 学習意欲向上の原理と方法B (2) ----- 情報メディアの授業活用B (1) 情報メディアの授業活用B (2)		2 又は 4
			生徒指導、教育相談及び進路指導 等に関する科目		○ 生徒指導論C I (1) ○ 生徒指導論C I (2) ----- 教育相談論C 教育相談論D ----- 生徒指導論C II (1) 生徒指導論C II (2)
教育実習	○ 教育実習II (教育実習基礎研究) ○ 教育実習IV (中学校)	5			
教職実践演習	○ 教職実践演習 (中・高)	2			
合 計			31		

注1 (免許ごとの教科の指導法)の授業科目は62頁の”免許ごとの「教科の指導法」”を参照してください。
注2 高校免許も取得する場合、中学校免許用として修得した「道徳教育論」の単位は、高校免許の「教職に関する科目」としては使えませんが、高校免許の「教科又は教職に関する科目」の単位にあてることができます。

教科に関する科目	20	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」から修得してください。
教科又は教職に関する科目	8	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」又は「教職に関する科目に準ずる科目」から修得してください。

【履修にあたっての注意事項】

履修にあたっては、下表に示すとおり履修順序等に制限があるので、よく確認の上 計画的に履修を進めてください。

記号	説明
A B C D	科目の領域の別を示す。履修順序に制限はない。
I II III	単位を修得しなければ、次の順番のものは履修できない。
(1) (2)	2科目合わせて履修・単位修得すべき科目で、履修順序を示す。 (1)を履修しなければ、(2)を履修できない。

「教職に関する科目」は、教育学部開講科目となります。

各年度に開講する科目、時間割等については、別に配布する【教育学部教職科目開講一覧】で確認してください。

なお、時間割の変更等については、教育学部講義棟掲示板で確認してください。また、集中講義の日程・教室については、別途掲示します。

科目や履修方法、開講時期等について変更がある場合は、掲示で周知しますので、文・法・経済学部講義棟1階の教職関係掲示板及び教育学部の掲示板を必ず確認するよう注意してください。

(3) 高等学校教諭一種免許状取得に必要な単位

高等学校教諭免許取得に必要な「教職に関する科目」の単位は、以下の表により修得してください。また、「教科に関する科目」は、64頁以降の表を参照し、必要な単位を修得してください。

注意：○印の授業科目は必修

区 分		授業科目名	必要 単位数	備 考	
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	○ 教職論C (1) ○ 教職論C (2)	2	注1 (免許ごとの教科の指導法) の 授業科目は62頁の” 免許ごとの「教 科の指導法」” を参照してください。 注2 免許法上では6単位必要です が、カリキュラム上8単位修得する ことが必要です。 注3 中学校免許を同時に取得する 場合は、5単位修得することになり ます。 注4 免許法で求められるより2単 位 (中学校免許を同時に取得する場 合は4単位) 多く修得することにな ります。この2単位 (又は4単位) は、 「教科又は教職に関する科目」の単 位にあてることができません。	
	教育の 基礎理 論に関 する科 目	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	○ 教育学概説C (1) ○ 教育学概説C (2)		2
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	○ 学校教育心理学C I ○ 学校教育心理学C II ○ 学習心理学 (1) ○ 学習心理学 (2)		2
	教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項	○ 教育の制度と社会C (1) ○ 教育の制度と社会C (2)	2		○ 人権・同和教育 (1) ○ 人権・同和教育 (2)
		○ 中等教育カリキュラム論C (1) ○ 中等教育カリキュラム論C (2)	2		
	教育課 程及び 指導法 に関する 科目	教育課程の意義及び編成の方法	○ (免許ごとの教科の指導法) ^{注1}		2
		各教科の指導法	○ 特別活動論C (1) ○ 特別活動論C (2)		2
		特別活動の指導法	○ 教育の方法と技術C (1) ○ 教育の方法と技術C (2)		2
		教育の方法及び技術 (情 報機器及び教材の活用を 含む。)	○ 現代教育方法学B (1) ○ 現代教育方法学B (2) ○ 学習意欲向上の原理と方法B (1) ○ 学習意欲向上の原理と方法B (2) ○ 情報メディアの授業活用B (1) ○ 情報メディアの授業活用B (2)		2
	生徒指導、教育相談及び進路指導 等に関する科目	○ 生徒指導論C I (1) ○ 生徒指導論C I (2)	4		○ 教育相談論C ○ 教育相談論D ○ 生徒指導論C II (1) ○ 生徒指導論C II (2)
2科目 選択必修					
教育実習	○ 教育実習II (教育実習基礎研究)	3 ^{注3}	○ 教育実習V (高等学校)		
	○ 教職実践演習	2			
合 計			25 ^{注4}		
教科に関する科目			20	取得しようとする免許教科の「教科 に関する科目」から修得してくださ い。	

教科又は教職に関する科目	16	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」、「教職に関する科目」又は「教職に関する科目に準ずる科目」から修得してください。
--------------	----	---

【履修にあたっての注意事項】

履修にあたっては、下表に示すとおり履修順序等に制限があるので、よく確認の上 計画的に履修を進めてください。

記号	説明
A B C D	科目の領域の別を示す。履修順序に制限はない。
I II III	単位を修得しなければ、次の順番のものは履修できない。
(1) (2)	2科目合わせて履修・単位修得すべき科目で、履修順序を示す。 (1)を履修しなければ、(2)を履修できない。

「教職に関する科目」は、教育学部開講科目となります。

各年度に開講する科目、時間割等については、別に配布する【教育学部教職科目開講一覧】で確認してください。

なお、時間割の変更等については、教育学部講義棟掲示板で確認してください。また、集中講義の日程・教室については、別途掲示します。

科目や履修方法、開講時期等について変更がある場合は、掲示で周知しますので、文・法・経済学部講義棟1階の教職関係掲示板及び教育学部の掲示板を必ず確認するよう注意してください。

(4) 教職に関する科目：免許ごとの「教科の指導法」履修方法について

注意：○印の授業科目は必修

免許教科	授業科目名	必要単位数	備考
中学校（国語） 高等学校（国語）	選択必修 中等国語科指導法AⅠ ----- 中等国語科指導法AⅡ ----- 中等国語科指導法BⅠ ----- 中等国語科指導法BⅡ	2	
中学校（社会）	選択必修 中等社会科指導法A（1） ----- 中等社会科指導法A（2） ----- 中等社会科指導法B（1） ----- 中等社会科指導法B（2）	2	
高等学校（地理歴史）	○ 地理歴史科指導法（1） ○ 地理歴史科指導法（2）	2	
高等学校（公民）	○ 公民科指導法（1） ○ 公民科指導法（2）	2	
中学校（英語） 高等学校（英語）	選択必修 中等英語科指導法A（a） ----- 中等英語科指導法A（b） ----- 中等英語科指導法B（a） ----- 中等英語科指導法B（b） ----- 中等英語科指導法開発（A） ----- 中等英語科指導法開発（B）	2	
中学校（フランス語） 高等学校（フランス語）	選択必修 中等仏語科指導法A（1） ----- 中等仏語科指導法A（2） ----- 中等仏語科指導法B（1） ----- 中等仏語科指導法B（2） ----- 中等仏語科指導法C（1） ----- 中等仏語科指導法C（2） ----- 中等仏語科指導法D（1） ----- 中等仏語科指導法D（2）	2	

【履修にあたっての注意事項】

各教科の指導法は、取得しようとする免許教科ごとに履修しなければなりません。また、各教科の指導法は、取得しようとする免許教科にしか教職用の単位として使用できません。

また、授業科目名の末尾に(1)(2)が付いている科目は、2科目合わせて履修・単位修得すべき科目で、(1)を履修しなければ、(2)を履修できないという履修順序があります。

(5) 教職に関する科目：教育実習について

1. 教育実習は、4年次の第1学期、第2学期（原則4月から6月）に高一種免は2週間、中一種免は4週間各自の出身校で履修すること。
2. 教育実習を行う前年度までに、教育実習履修資格単位を修得しておくこと。（下記※参照）
3. 教育実習基礎研究（事前・事後指導）は、実習を行う年度の前年度第3学期から始まります。文・法・経済学部1階の掲示板で日程等をよく確認すること。
なお、教育実習及び教育実習基礎研究の履修登録は、文学部教務担当で行います。
4. 事情により教育実習を辞退する場合は、速やかに文学部教務担当へ届け出るとともに、出身校へ必ず連絡すること。
5. 実習を行う年度の前年度（4年次に教育実習を履修する場合、3年次）の4月頃から様々な手続きが必要になります。文・法・経済学部講義棟1階の掲示板を常に確認し、期限厳守で手続きを行うこと。

【教育実習履修要件：平成28年度以降入学生適用】

※ 教育実習履修資格単位

下表のとおり修得済みであることを教育実習の履修要件とする。

教職に関する科目の区分	必要単位数
教職の意義等に関する科目	2単位以上
教育の基礎理論に関する科目	2単位以上
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法2単位を含めて4単位以上
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位以上
教職に関する科目の合計	16単位以上

(6) 教職に関する科目：教職実践演習について

1. 教育実習を終了した後，4年次第3学期，第4学期に履修すること。
2. 日程やクラス分けの詳細は，掲示により連絡します。
3. 教職実践演習の履修登録は，文学部教務担当で行います。

5 各教員免許状の教科に関する科目に対応する授業科目

(1) 中学校教諭一種普通免許状(社会) 高等学校教諭一種普通免許状(地理歴史)・(公民)

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目			授 業 科 目	備 考	
中一種社会	高一種地歴	高一種公民			
日本史及び外国史	日本史	注) 右欄の授業科目は、高一種公民の教科に関するものではない。	人文学講義(日本美術史a) 人文学講義(日本美術史b) 実践演習(日本美術史a) 実践演習(日本美術史b) ○人文学概説(日本史1a) } ※1a, 1bどちらも修得すること ○人文学概説(日本史1b) } ○人文学概説(日本史2a) } ※2a, 2bどちらも修得すること ○人文学概説(日本史2b) } 人文学講義(日本史a) 人文学講義(日本史b) 人文学講義(日本史) 人文学概説(考古学1a) 人文学概説(考古学1b) 人文学概説(考古学2a) 人文学概説(考古学2b) 人文学講義(考古学a) 人文学講義(考古学b) 実践演習(日本史a) 実践演習(日本史b) 実践演習(地域歴史遺産) 実践演習(考古学a) 実践演習(考古学b)	選択必修	
	外国史		人文学講義(西洋美術史a) 人文学講義(西洋美術史b) 実践演習(西洋美術史a) 実践演習(西洋美術史b) ○人文学概説(アジア史1a) } ※1a, 1bどちらも修得すること ○人文学概説(アジア史1b) } ○人文学概説(アジア史2a) } ※2a, 2bどちらも修得すること ○人文学概説(アジア史2b) } ○人文学概説(西洋史1a) } 1a, 1bどちらも修得すること ○人文学概説(西洋史1b) } ○人文学概説(西洋史2a) } ※2a, 2bどちらも修得すること ○人文学概説(西洋史2b) } 人文学講義(アジア史a) 人文学講義(アジア史b) 人文学講義(西洋史a) 人文学講義(西洋史b) 人文学講義(文化交流史a) 人文学講義(文化交流史b) 実践演習(アジア史a) 実践演習(アジア史b) 実践演習(西洋史a) 実践演習(西洋史b)		選択必修 選択必修
地理学(地誌を含む。)	人文地理学及び自然地理学			○人文学概説(人文地理学a) ○人文学概説(人文地理学b) ○人文学概説(自然地理学a) ○人文学概説(自然地理学b)	
	地誌			○人文学講義(地誌学a) ○人文学講義(地誌学b)	
				人文学講義(地理学a) 人文学講義(地理学b) 実践演習(地理学a) 実践演習(地理学b)	
「法学、政治学」			「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	憲法(人権) a 憲法(人権) b 憲法(人権) c 行政法総論 I 行政法総論 II a 行政法総論 II b 行政法総論 II c 民事手続法概論 民事訴訟法 a 民事訴訟法 b 民事訴訟法 c 企業取引法 a 会社法 a 会社法 b 会社法 c 刑法総論 a 刑法総論 b 刑法総論 c 労働関係法 雇用関係法 a 雇用関係法 b 雇用関係法 c	法学部開設
			注) 右欄の授業科目は、高一種地歴の教科に関するものではない。		

		国際法論 a 国際法論 b 国際法論 c 国際法論 a 国際法論 b 国際法論 c 国際政治論 a 国際政治論 b 政治学 a 政治学 b	
「社会学, 経済学」	「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」	○人文学概説 (社会学 1 a) ○人文学概説 (社会学 1 b) 人文学概説 (社会学 2 a) 人文学概説 (社会学 2 b) 人文学概説 (文化人類学 a) 人文学概説 (文化人類学 b) 人文学概説 (社会文化学 a) 人文学概説 (社会文化学 b) 人文学講義 (社会学 a) 人文学講義 (社会学 b) 人文学講義 (文化人類学 a) 人文学講義 (文化人類学 b) 人文学講義 (社会文化学 a) 人文学講義 (社会文化学 b) 人文学講義 (社会文化学) 人文学講義 (社会文化学) 実践演習 (社会文化学 a) 実践演習 (社会文化学 b)	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	* 人文学概説 (哲学 1 a) * 人文学概説 (哲学 1 b) 人文学概説 (哲学 2 a) 人文学概説 (哲学 2 b) * 人文学概説 (倫理学 1 a) * 人文学概説 (倫理学 1 b) 人文学概説 (倫理学 2 a) 人文学概説 (倫理学 2 b) 人文学概説 (西洋思想史 a) 人文学概説 (西洋思想史 b) 人文学概説 (日本思想史 a) 人文学概説 (日本思想史 b) 人文学概説 (美学 1 a) 人文学概説 (美学 1 b) 人文学概説 (美学 2 a) 人文学概説 (美学 2 b) 人文学講義 (哲学 a) 人文学講義 (哲学 b) 人文学講義 (倫理学 a) 人文学講義 (倫理学 b) 人文学講義 (思想史) 人文学講義 (美学 a) 人文学講義 (美学 b) 実践演習 (哲学 a) 実践演習 (哲学 b) 実践演習 (倫理学 a) 実践演習 (倫理学 b) 実践演習 (思想史 a) 実践演習 (思想史 b) 実践演習 (美学 a) 実践演習 (美学 b) 人文学講義 (比較宗教史 a) 人文学講義 (比較宗教史 b)	※中一種社会は、*人文学概説 (哲学 1 a, 1 b) のセットまたは*人文学概説 (倫理学 1 a, 1 b) のセットをどちらか選択必修
注) 右欄の授業科目は、中一種社会の教科に関する科目にはならない。		* 人文学概説 (心理学 1 a) * 人文学概説 (心理学 1 b) 人文学概説 (心理学 2 a) 人文学概説 (心理学 2 b) 人文学講義 (心理学 a) 人文学講義 (心理学 b) 人文学講義 (心理学)	※高一種公民は、*人文学概説 (哲学 1 a, 1 b) のセット、*人文学概説 (倫理学 1 a, 1 b) のセットまたは*人文学概説 (心理学 1 a, 1 b) のセットのいずれかを選択必修

(2) 中学校教諭一種普通免許状（国語） 高等学校教諭一種普通免許状（国語）

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 国 語	高 一 種 国 語		
国 語 学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国 語 学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○人文学概説（日本語学1a） ○人文学概説（日本語学1b） ○人文学概説（日本語学2a） ○人文学概説（日本語学2b） ○人文学講義（日本語学a） ○人文学講義（日本語学b） 実践演習（日本語学a） 実践演習（日本語学b） 人文学講義（現代日本語学a） 人文学講義（現代日本語学b） 実践演習（現代日本語学a） 実践演習（現代日本語学b） 人文学講義（日本語教育学a） 人文学講義（日本語教育学b） 人文学講義（言語学1a） 人文学講義（言語学1b）	
国 文 学 (国文学史を含む。)	国 文 学 (国文学史を含む。)	○人文学概説（日本文学1a） ○人文学概説（日本文学1b） ○人文学概説（日本文学2a） ○人文学概説（日本文学2b） 人文学講義（日本文学a） 人文学講義（日本文学b） 実践演習（日本文学a） 実践演習（日本文学b）	
漢 文 学	漢 文 学	○人文学概説（中国言語文化学1a） ○人文学概説（中国言語文化学1b） ○人文学概説（中国言語文化学2a） ○人文学概説（中国言語文化学2b） 人文学講義（中国言語文化学a） 人文学講義（中国言語文化学b）	※1a, 1bどちらも修得すること ※2a, 2bどちらも修得すること 選択必修
書 道 (書写を中心とする。)	注) 右欄の授業科目は、高一種国語の教科に関する科目にはならない。	○書写・書道概論	教育学部開設

(3) 中学校教諭一種普通免許状（英語） 高等学校教諭一種普通免許状（英語）

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 英 語	高 一 種 英 語		
英 語 学	英 語 学	○人文学概説（英語学a） ○人文学概説（英語学b） 人文学講義（英語学a） 人文学講義（英語学b） 実践演習（英語学a） 実践演習（英語学b） 人文学講義（言語学2a） 人文学講義（言語学2b）	
英 米 文 学	英 米 文 学	○人文学概説（英語圏文学a） ○人文学概説（英語圏文学b） 人文学講義（英語圏文学a） 人文学講義（英語圏文学b） 実践演習（英語圏文学a） 実践演習（英語圏文学b）	
英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	英語表現法1a 英語表現法1b 英語表現法2a 英語表現法2b ○英語コミュニケーション1a ○英語コミュニケーション1b 英語コミュニケーション2a 英語コミュニケーション2b 英語コミュニケーション3a 英語コミュニケーション3b	
異 文 化 理 解	異 文 化 理 解	○時事英語1a ○時事英語1b 時事英語2a 時事英語2b	

(4) 中学校教諭一種普通免許状（フランス語） 高等学校教諭一種普通免許状（フランス語）

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 仏 語	高 一 種 仏 語		
仏 語 学	仏 語 学	○人文学概説（フランス語学a） ○人文学概説（フランス語学b） ○人文学講義（フランス語学a） ○人文学講義（フランス語学b） ○実践演習（フランス語学a） ○実践演習（フランス語学b）	
仏 文 学	仏 文 学	○人文学講義（フランス言語文化学a） }*a, bどちらも修得すること ○人文学講義（フランス言語文化学b） } ○人文学講義（日仏文化交流a） }*a, bどちらも修得すること ○人文学講義（日仏文化交流b） } ○実践演習（フランス言語文化学a） ○実践演習（フランス言語文化学b） ○実践演習（日仏文化交流a） ○実践演習（日仏文化交流b）	選択必修
仏語コミュニケーション	仏語コミュニケーション	○フランス語コミュニケーション1a ○フランス語コミュニケーション1b ○フランス語コミュニケーション2a ○フランス語コミュニケーション2b ○フランス語コミュニケーション3a ○フランス語コミュニケーション3b ○フランス語コミュニケーション4a ○フランス語コミュニケーション4b ○フランス語コミュニケーション5a ○フランス語コミュニケーション5b ○フランス語コミュニケーション6a ○フランス語コミュニケーション6b ○フランス語総合演習1a ○フランス語総合演習1b ○フランス語総合演習2a ○フランス語総合演習2b ○フランス語総合演習3a ○フランス語総合演習3b	
異文化理解	異文化理解	○人文学概説（フランス文化史1a） }*1a, 1bどちらも修得すること ○人文学概説（フランス文化史1b） } ○人文学概説（フランス文化史2a） }*2a, 2bどちらも修得すること ○人文学概説（フランス文化史2b） } ○フランス語総合演習4a ○フランス語総合演習4b	選択必修

別表（単位修得方法：中学校教諭一種普通免許状）

第一欄	第二欄	最低修得単位数
免許教科	教科に関する科目	
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） 国文学（国文学史を含む。） 漢文学 書道（書写を中心とする。）	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
社会	日本史及び外国史 地理学（地誌を含む。） 「法学，政治学」 「社会学，経済学」 「哲学，倫理学，宗教学」	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
仏語	仏語学 仏文学 仏語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上

別表（単位修得方法：高等学校教諭一種普通免許状）

第一欄	第二欄	最低修得単位数
免許教科	教科に関する科目	
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） 国文学（国文学史を含む。） 漢文学	1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
地理歴史	日本史 外国史 人文地理学及び自然地理学 地誌	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
公民	「法学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」 「社会学，経済学（国際経済を含む。）」 「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
仏語	仏語学 仏文学 仏語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上